令和8年　子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー
（2026/11/26）

農山漁村の資源・魅力を活用した「地域交流・探究型旅行モデルプラン」の企画・実証・公開に向けて

～日本の地域の将来を子供たちと共に考えるきっかけづくり～

私立武蔵高等学校中学校　副校長　加藤十握
（地域探究旅行研究会　代表）

©2026　KATO,Totsuka

今なぜ「地域探究型（教育）旅行」なのか
～機は熟している～

①「地域探究型旅行」に託す未来　【未来への視座】

人口減少・少子高齢化による急激な変化に柔軟に対応し、
子供たちが未来の日本を創造してゆくための視座を確保し、**現実を知る手段として「旅」（あるく・見る・聞く・考える）を有効活用したい。**

②教育旅行の課題解決に向けて【送り手側の変化】

学校が企画する修学旅行に（観光分野と同様の）課題が生じ、従来の形での実施が困難になりつつある。一方、**「探究」活動への注目とともに、体験・地域探究・交流型の教育旅行に関心が集まりつつある。**

③地域創生の一助として【受け手側の変化】

持続可能な地域づくりを実践する地域が増加し、その手段の一つとして、**教育旅行を活用して、将来の関係人口拡大を目指す取り組みが各地で始まっている。**

©2026　KATO,Totsuka

これまでやってきたこと
～地域探究型授業・旅行の様々な形態～

①高校「総合探究」の枠での【地域学】（少人数選択授業）
・4泊～5泊程度の地域探究型旅行を軸に据えた「地域学」年間授業
・過去の実施地：長崎県対馬、沖縄県、岩手県、宮城県、秋田県、等
・高校生10人程度の規模→**「交流×探究」の適正規模**

②中学「総合学習」の枠での【みなかみ探究】（学年授業）
・3泊4日の地域探究型旅行を含めた「みなかみ探究」年間授業
・180人程度の学年規模（分散型、農泊・小規模施設分泊）
・全日程民泊、前半２日はバス毎に4テーマ全8プログラムを実施
・4テーマ（コース）例　→　次スライド

③自由参加の【SDGs地域探究ツアー】（超学校ツアー企画）
・2泊3日の地域探究・交流型旅行を地域や旅行会社と連携して企画
・**農林水産業体験×地域探究＝地域の魅力への気づき**
・中学・高校生15人～20人程度の規模、着地型現地集合・解散
・2026年度は宮城県大崎市（農業）・南三陸町（漁業）で実施

©2026　KATO,Totsuka

中２「みなかみ民泊実習」前半２日の行程例

コース名	1日目	2日目
山間地の営みコース（1号車）	上の原入会地の散策、みなかみ町立藤原小学校（小規模校）での交流	上の原茅場保全活動
異世代交流コース（2号車）	みなかみ町福祉センターでの交流者との交流	昭和村村立昭和東小学校（中規模校）での交流
歴史・まちづくりコース（3号車）	沼田市内古地図オリエンテーリング	道の駅川場田園プラザでの前副村長講話や対話
環境保全コース（4号車）	赤谷プロジェクト（ニホンジカ調査プログラム）	谷川岳エコツーリズムとガイド交流

★後半2日は民泊先での家業実習









ポイント
地域の日常（営み）＝探究の素材

©2026　KATO,Totsuka

わかってきたこと
地域創成の手段としての地域探究・交流型教育旅行

①地域の変化と本気

・少子高齢化＆過疎化による人口減少への危機感
・観光関係組織や地域の旅行会社などによる教育旅行誘致の試み本格化（将来の「関係人口」拡大）
・将来的に地域を担える人材の育成への意気込み

②子供たちや社会の変化への対応

・エスカレーター式の人生への不安や疑問
・柔軟性や協働する力が求められる社会への対応
・探究的な学習や活動に力を入れる学校の増加
（新学習指導要領：特活・総合探究・道徳の授業の連携/キャリア教育的な観点の導入）

③先ずは、事例紹介と情報交換

・ 地域や学校に地域探究旅行の経験が少ない
・地域にとって、探究素材が見つからない、学校誘致はハードル高し
・学校にとって、旅行を探究型にする方法がわからない

©2026　KATO,Totsuka

これからのこと
～「地域探究旅行研究会」設立と実践～

①【実践】教育旅行を企画したい地域との共同企画による、高校生や中学生向けの地域探究・交流型旅行の研究と造成

- 総合的な探究の時間　×　地域探究・交流型旅行
- **「地域探究・交流型旅行」のモデル作り**
- モノゴト探究＜**地域人探究…地域人材が探究素材**

②【連携】旅行造成・集客のための企画側の連携

- 地域探究型旅行実施のための学校、企画組織、地域組織との協力
（2027年度　宮城県の他、石川県、福島県、島根県等の組織と企画検討中）
- 各情報誌・日本修学旅行協会などからの教育旅行情報提供
- 学校や地域への「地域探究」実践の紹介・普及活動
- **地域探究・交流型旅行を造成・実施できる人材（コーディネーター・ファシリテーター）の育成**

©2026　KATO,Totsuka

③【拡充】**情報交換のためのプラットフォーム構築**
（イメージ：地域探究の「庭」）

- 地域探究・交流型旅行に関する**情報共有**
- 各学校の趣向を凝らした地域探究型教育旅行の**実施事例の集約・実施地域のデータベース化**
- 受け入れに積極的な地域の受入事例の集約・**受け入れ可能地域のデータベース化**

→ふるさとホームステイ・子ども農山漁村交流プロジェクト等既存の情報集約や告知を強化

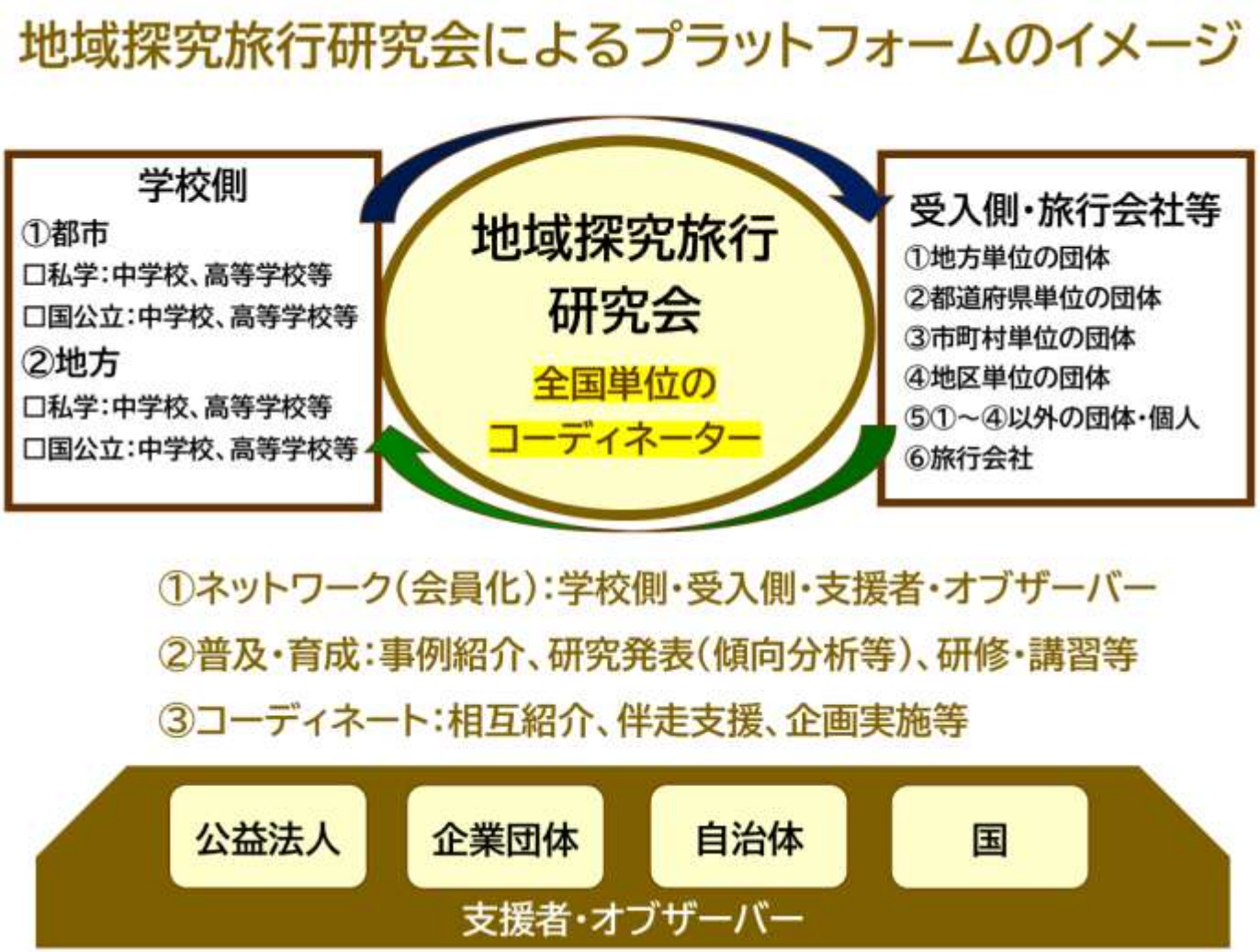
- 危機管理などに活用できる**ガイド類の作成**や共有

④【基盤】**教育旅行に関する学際的な知の蓄積**

- 地域探究型旅行を実施している人物・組織（学校、地域、旅行業者など）による事例紹介（**書籍刊行などによる普及活動**）
- 旅行参加者や実施地域の前後変容などの**効果測定方法**開発
- 観光系・教育系アカデミーへのアプローチ、既存学会への参加

©2026　KATO,Totsuka

「地域探究旅行研究会」のイメージ図



©2026 KATO,Totsuka

ご清聴ありがとうございました

地域探究旅行研究会　お問い合わせ先
chiikitankyu2025@gmail.com

note「地域探究旅行の庭」（試験運用）
https://note.com/chii_tan_2026

©2026　KATO,Totsuka